

創作活動で、カラフルきのこを作りました♪



専門性を  
 高める  
 理事長 荻部 一夫

「やぶ医者」突然、大変失礼な言い方ですが、医療機関を率直に評価した言葉で、誰しも一度や二度はそんな思いをした経験はありませんでしょうか。

実は私も肉親を癌でなくしたとき、担当医の先生がもう少し早く病巣を発見してくれたら完治する可能性もあったのではないかとこの思いになった経験があります。患者は医療について素人なので、医者を全面的に信頼するしかありません。しかし実際は、同じ国家資格をもった医者でも、その知識や経験によってその判断は大いに違ってくるものです。それがわかっていても、いつでもどこでも誰が診断しても最新のデータに基づいた診断ができればどんなに素晴らしいかと思ってしまう。

医療機関を例にあげたのは、医療従事者の方々には失礼でしたが、実は私の前職の「教員」も同じように世の中から見られていた職業の一つです。新学期が始まると、「年度の担任の先生は、あたり」「はずれ」と保護者の間では先生への評価がもつぱらの話題になります。授業のやり方、宿題の出し方、連絡の仕方など、日々子供を取り巻く対応の仕方一つ一つをこと細かに学校に要求される方もいらっしゃいます。当然と言えば当然で、それがどんなに小さなことだとしても、当人やご家族にとっては「人生の一部」が不利な環境であることを回避したいからです。

このような職業人についての評価は、「医

者」や「教員」に限らず、どの分野でもある話で、福祉サービスも例外ではありません。しかし、前述の「医療従事者」や「教員」という職種では、その「専門性」への信頼と期待がより大きい職種なのだと思います。

それでは、「専門性」とは何かを考えてみると、一つには「知識」「経験」が重要かもしれません。しかし、「知識」「経験」が重要なだけでは身に付くものではありません。「資格マニア」と言われる人の中には、多くの資格を取得しているにもかかわらず、持っているだけで実際には役に立っていない場合も見受けられます。「専門家」とは資格や免許そのものを指すわけではないのです。

知識は常に新しく更新されますし、経験は時間を経過するだけで得られるのではなく、常に問題意識をもってそれを積み重ねる努力があってこそ「経験」でしょう。そして何よりその知識と経験で、当人やご家族のニーズをしっかりと受け止め、応えていける資質と行動力を身に着けていることが必須かと思っています。

新内閣は、「分配」の一つに、保育、介護にも光を当てると言っており、福祉事業者としては大いに歓迎するところです。しかし、それは同時に福祉職員（特に専門職）の資質がこれまでに以上に問われることでもあります。龍鳳は、すべての職員がより高い専門性を備え皆様の信頼と期待に応えられるように、今後も一層努力していく所存です。

写真についてはご本人（代理人又は成年後見人）の同意を得て掲載しております。



こぶし保護者会からのご寄附を活用し、コロナ禍で出来る楽しみを考え「プチこぶし祭り」を開催しました。普段とは違う昼食やゲームなどを楽しみました♪

ご寄附いただきました

- 東久留米市社会福祉協議会を通じて、ボランティアの方から手作りの飾り等をご寄附いただきました。
- こぶし福祉会より、オリンピック・パラリンピック記念品をご寄附いただきました。



頂いた物品は大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

成長

早いもので入職して3年目がもうそろそろ終わろうとしています。“職員も利用者さんもお互いが成長し笑顔で支え合える場所”という言葉に引かれ入職しましたが、これまで様々な壁がありました。夜勤中何度も頭を抱えたこともありましたが、自分が苦手なことをやり遂げなくてはいけないこともありました。そういった壁を乗り越えてきた今、入職前に比べ成長できている自分を感じることができます。

壁を乗り越えて来られたのは自分自身の力もあると思いますが、中でも原動力となったのは年齢も違う“同期4人”の存在があったからだと思います。支援に対してたくさんの苦勞を共感してきいたり、利用者さんのいい話を共有したり、支援について時間をかけて案を出し合ったりと、私を成長させてくれた大切な存在です。恐らく私を含めて同期同士、一人一人が切磋琢磨して良い刺激となって成長しているのかなーと勝手に思っています。

今後も同期の仲間や周りから得た良い刺激や支えを通して、こぶし利用者さんが笑顔で成長できるよう支援していきたいと思っています。

生活支援員 城間 直哉



## 言葉の力

世の中の流れが急速に変わり、当たり前前の基準も見違える中で、間もなく一年が終わろうとしています。

今年は随分と多くの本に触れることが出来ました。本の中に自分を置くことでいつもと違った世界を楽しめる。それは外出もままならなかった年に、豊かな旅をしている気分になり幸せな時間でした。

そのような中で私の好きな作家である有川ひろさんのエッセイにも触れました。そこにあったものは「好き」や「良い」ということを私たちは発信することが苦手だけど、それを意識して発信している。という主旨のことが書かれていました。最近の本ではないのですが、それは大事なことだと強く感じました。

私たちは「良くない」と自分たちが判断したことには、つい目を向けたくなくなります。しかし「良い」と思いっきり発信する力は弱いものがあります。それはなぜか「良い」は当たり前であり「特別」なことではないから言わずとも問題ない。しかし、「良くない」ことはそうではないから伝えなければいけない。と思う自分なりの正義感からなのかもしれません。

言葉は数十年の時を経ても私に力をくれます。それは実家から届いた小さな色紙に込められたものでした。表に「心」と書かれた色紙は私が高校時代の朗読大会に出場した時の校長からのものです。そのようなものがあつたことすら忘れていましたが、そこに込められた感想や励ましの言葉を読み返した時、その当時は気づけなかった校長のメッセージがようやく理解出来ました。朗読することに夢中になり作者の想いまで深く考えることが出来ていなかった私へのアドバイス。それは今の私にも大切なことです。

仕事は決して自己満足をすれば良いものではありません。自分一人が頑張つて成果をあげているということではなく、そこに向かう為には仲間がいて、共に進んでいることを忘れてはいけません。高校時代と今の環境は全く違いますが、想いを知ることが大切だと胸を打ちました。

日々、私たちはたくさんの言葉を発しています。その中に力があることを忘れずに「今」だけでなく「未来」にも良い影響を与えることが出来るよう意識していきたいと思ひます。

総務事務部部长 小松崎 希史子



## 褒め言葉

先日ある利用者が、作業の成果で自己ベストを更新されました。その際に「すごい！頑張りましたね！」とお伝えすると「やった～！」と両手を挙げて喜ばれていました。

実はこの方、少し前まで褒められることを拒まれていました。当初は「すごい！」とお伝えすると「やめて！」と耳を塞がれることもありましたが。褒められることが苦手とわかってからは、作業を終えた時に「頑張りましたね」、何か出来た時に「お、すごい」とあっさりした声掛けを続けていくと、褒められることへの抵抗感が徐々に無くなられたようでした。今では「すごい？結構出来たよ？」と職員に伝えて下さり、「すごいね！！」と一緒に喜ぶことが出来るようになりました。

言葉の受け取り方は、人それぞれであると改めて感じた出来事でした。自分だったらどうかなと常に考えつつ、相手に合わせて表情や口調、言葉を変えながら、工夫した声掛けを意識していきたいと思ひます。

生活支援員 服部 優奈

## ★「人生に喜びを！印象に残る行事にしよう♪」～行事紹介のコーナー～★

行事企画課では、利用者さんにとつても、支援者にとつても、印象に残る行事になるよう企画をたてています♪「あの時の行事は楽しかったよね～」「またやりたいな～」と言つて貰えるようにアイデアを振り絞っています！

### ①最近の行事で一番印象に残っているものは？

「プチこぶし祭り」です♪

テーマは【食】非日常の食事や駄菓子探しゲームをやりました



### ②印象に残ったその場面は、どのような場面ですか？

食事の際にはいつもはしない『おかわり』をたくさんしていただきました😊また、駄菓子を自分で見つけ出した瞬間は笑顔がパーっとはじけ、達成感を得られたように感じられました🌟

### ③目新しい斬新な行事企画をコッソリ教えてください。

12月は「クリスマス会」があります🎄もしかして・・・こぶしにサンタクロースがやってくる?!👶利用者さんには、何気ない会話の中で、さり気なく欲しい物を聞き出しています👍

### ④最後に…こぶしだよりを読んでいる方へメッセージをお願いします。

日常を過ごす中でのイベントは、いくつになつてもワクワクしますよね！どの行事も利用者さんの『印象に残るもの』を作り上げられるよう心掛けています😊地域の皆さまとも、気兼ねなく交流できる日を楽しみにしています！

( 行事企画課 吉井 友美 )

## ★「日常をおもしろ・楽しく出来るのは私たち次第♪」～余暇活動紹介のコーナー～★

余暇課では、利用者さんにたくさんの体験をして貰えるような企画をたてています。また、企画だけでは無く利用者さん一人一人に焦点をあてて「その人らしい余暇時間」が過ごせるように、時間に縛られない余暇が実現できるよう日々工夫を凝らしています！

### ①最近の余暇で一番印象に残っているものは？

10月31日に行った「ハロウィンパーティーです」



### ②印象に残ったその場面は、どのような場面ですか？

仮装用の帽子やお化けのお面を皆で被りました♪

### ③これから考えている新たな余暇チャレンジはありますか？

年末の冬休みに向かつて「こぶしデパート」を企画しています！喫茶店や駄菓子コーナー等…わくわくするような内容を考えています😊

### ④最後に…こぶしだよりを読んでいる方へメッセージをお願いします

今年もコロナ禍で制限がかかっていますが、コロナだからこそ！出来ることは何だろう？と日々考えています。出来ないことなんてない！工夫することで、楽しめる事が沢山あると改めて実感しています！

( ボランティア余暇課 鈴木 麻椰 )